

平成 29 年 11 月 29 日（水）の弥彦村精神保健講座において、当院で思春期・青年期外来を担当する青山が、「発達障害？気が付くヒント～大人の発達障害」を講演いたしました。

最近、マスコミでよく取り上げられる大人の発達障害について、弥彦村で精神保健や地域の健康相談に携わっていらっしゃる方々に、相談の来られた方のお話のどこに注目したら良いか、どんな様子に注目すべきか、ということをお話しました。

発達障害は子供の頃から継続した脳の機能障害と考えられていますが、幼児期、学童期に相談の対象とならなかった方々は、言葉の遅れや知的障害のないため援助の対象とならないこともあります。しかし、本人は周囲と上手くいかないなど、自尊感情の傷つきを抱えたままのこともあります。中学、高校、大学、就職と対人関係や社会生活は複雑となり、行き詰ったり、溜まっていた感情が処理できなくなり、不応症症状を生じて相談に来られることがありますので、地域の健康相談窓口となる方々のヒントとなるポイントを示しました。